【児童発達支援】

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス あぜがみTOIRO

支援プログラム

作成日

7年

5月

20日

法人（事業所）理念	「共生と貢献」 共生…他を受け入れ、共に生きていくなかで、それぞれの子どもが周りのすべての環境のなかで生かされていることを知り、自分も相手の存在を深め、また豊かにしていくことができる社会づくり 貢献…さまざまな体験を通じて得た知恵や知識を用いることによって、よりよい共生を目指すこと（貢献）に喜びを感じる子ども				
支援方針	子どもの主体性を育てる支援 ①「生活をはぐくむ」子どもたちの主体的な活動としての生活を保障する支援 ②「自立をはぐくむ」子どもの自発的な活動としての遊びを保障する支援 ③「個性をはぐくむ」一人ひとりの特性に応じた支援 ④「社会性をはぐくむ」人とのかかわりを大切にしたい支援 ⑤ご家族に寄り添える家族支援				
営業時間	9時	30分	13時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	身辺自立や学業・社会的場面での基礎となる健康的な生活づくりを目指し、その妨げやつまづきとなっている身体的な発達の特性や段階に目を向け、本質的な発達支援を検討致します。本人の今のそだちに適した環境調整を行い、「できた」という実感から生活の様々な困難にも取り組んでみようとする意欲を伸ばします。			
	運動・感覚	情動のコントロールの背景にある運動・感覚面の特性や不器用さに対してもアセスメントし、多種多様な体験を楽しく安全に取り組めるプログラムとして提供致します。感覚遊びや戸外での活動、室内でも五感を育むプログラムを取り入れます。			
	認知・行動	一人ひとりの受け取り方や理解の仕方についての特性を踏まえ、「わかった」という手ごたえと学ぶことの楽しさを本人が味わえるよう環境調整をサポートします。問題行動や不適応行動に対してはABAの観点で分析を行い、好ましい行動への強化を行います。			
	言語 コミュニケーション	言葉の前の体づくりから支援していくことや、その子のコミュニケーションの状態に合わせてまずは要求ややり取りが生まれる机上課題や描画等を通じてサポートします。伝えたい、という意欲が沸き上がるよう、言葉と経験を結びつける体験の中での関わりを大切に致します。			
	人間関係 社会性	家庭の中だけでは体験できない人との関りの中で、それぞれの個性を見つめ、子どもたちが様々な年齢や個性がある他人との関りの中で「自立」と「自律」を学ぶことを保障します。子どもの成長、発達、やりたいことに合わせた集団で活動すること、それぞれの子どもの違いを認めること、自分の考えをしっかりと持ち、それを他人にきちんと伝えること、を通して「生きる力」を育みます。			
家族支援	定期的な勉強会や個別面談を行います。（家族支援加算、子育てサポート加算の活用）	移行支援	障害の有無にかかわらず多様な地域の子どもたちが集まる場として、公園や児童館での活動を取り入れ、地域の同年代との交流を促進したり、保育所等との連携により就学時期へのサポートを行います。		
地域支援・地域連携	利用児童に関わるソーシャルワークとの連携や、地域活動の実施によって利用児童の成人後の将来に向けて”地域とのつながり”を意識した支援を行います。	職員の質の向上	月に2回の継続研修の他、児童精神科医によるコンサルテーションによって専門性を高めます。		
主な行事等	4月：入学進学お祝い 5月：制作・外遊び 6月：作品制作 7月：七夕の会・体験外出 8月：夏祭り・水遊び 9月：クッキング 10月：ハロウィンパーティー 11月：遠足 12月：クリスマスパーティー 1月：新年お祝い会 2月：節分、バレンタイン 3月：いちご狩り				